

第39回コンクリート工学講演会および2017年度日本建築学会大会へ参加

[経営企画部]

1. はじめに

当センターの職員は、様々な学会で論文発表や梗概発表を行っております。ここでは、第39回コンクリート工学講演会および2017年度日本建築学会大会において発表した内容について、概要を紹介いたします。

2. 第39回コンクリート工学講演会

2017年7月12日（水）から7月14日（金）までの3日間、仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）において、公益社団法人日本コンクリート工学会が主催するコンクリート工学年次大会2017（仙台）にて第39回コンクリート工学講演会が開催されました。

本講演会では、コンクリート工学年次論文集Vol.39に掲載された論文・報告について発表するとともに、発表内容に対する活発な討議が行われました。投稿された論文・報告は、「コンクリート工学年次論文集」の査読要領に基づいて審査され、採択が決定した後、掲載されます。大会HPによると、584件の論文・報告が掲載され、材料性状や構造性能などコンクリート工学に関する最近の研究成果についての論文、資料として有用性の高い調査結果の報告が掲載されたとのことでした。

当センターからは3名の職員が参加し、材料関連2件、構造関連1件の報告および論文発表を行いました（参照：写真1および写真2）。発表者および題目は、表1のとおりです。

来年度は、2018年7月4日（水）から7月6日（金）にて神戸ファッションマートでの開催が予定されております。



写真1 萱田主幹による発表の様子



写真2 若林主任による発表の様子

表1 第39回コンクリート工学講演会発表者

発表日	発表者の所属・氏名		題目
7月13日	中央試験所 材料グループ	萱田健太郎（中田善久、 斉藤丈士、大塚秀三）	ブリーディング試験における作業の実施状況とブリーディング試験の印象に関する実態調査
7月14日	中央試験所 材料グループ	若林和義（中村則清、 志村明春、牛田真一郎）	引抜き試験による鉄筋とコンクリートとの付着強さ試験方法における供試体小形化に関する検討
	経営企画部 企画課	伊藤嘉則（楠 浩一）	観測地震波を入力波とする地震応答解析をもとに検証した靱性指標式

(注) 発表者欄中の()内は、連名者を示す。

3. 2017年度日本建築学会大会

2017年8月31日(木)から9月3日(日)に、広島工業大学において、2017年度日本建築学会大会が行われました。本年度は、当センターから17名の職員が大会にて発表を行いました。発表者および題目は表2のとおりです。

表2 2017年度日本建築学会大会発表者

発表日	発表者の所属・氏名		題目
8月31日	中央試験所 材料グループ	志村重顕	我が国の建築地下防水の現状と問題点 その4 試験体作製と試験条件の設定
	中央試験所 防耐火グループ	高橋一徳	発熱性試験に使用するブランケットの違いが総発熱量及び最高発熱速度に及ぼす影響
	中央試験所 防耐火グループ	内川恒知	壁装材料の防火性能に関する検討 その4 発熱性・ガス有害性試験
	中央試験所 防耐火グループ	福田俊之	防耐火構造の比較試験および性能評価の合理化に関する研究 その2 N=3体ルールと再現性への影響因子について
	中央試験所 環境グループ	田坂太一	建築用真空断熱材の耐久性試験方法の検討 その7 一定温湿度環境下における熱性能変化に関する実験
	中央試験所 環境グループ	馬淵賢作	建築用真空断熱材の性能評価方法の検討 その5 熱流計を用いた端部の断熱性能測定方法
	中央試験所 環境グループ	萩原伸治	日本のカーテンウォール熱貫流率計算法の開発 その11 カーテンウォールの国内標準化へ向けた検討
	中央試験所 環境グループ	松本知大	防水層の通気性能実態について
	中央試験所 環境グループ	安岡 恒	赤外線放射温度計を用いた放射率の簡易測定法に関する研究
	経営企画部	鈴木澄江	Jリングフロー試験方法による高流動コンクリートのワーカビリティ評価に関する実験検討その1 課題の抽出と実験計画
経営企画部 調査研究課	泉田裕介	Jリングフロー試験方法による高流動コンクリートのワーカビリティ評価に関する実験検討その2 Jリングフロー試験方法に関する検討	
9月1日	中央試験所 環境グループ	佐伯智寛	潜熱蓄熱材の性能評価方法に関する研究 その6 熱拡散率の測定による見かけ比熱と熱伝導率の推定
9月2日	中央試験所 材料グループ	若林和義	引抜き試験による鉄筋とコンクリートとの付着強さと試験方法におけるコンクリートの圧縮強度及び供試体の寸法についての検討
	西日本試験所 試験課	早崎洋一	差鳴居構法の強度性能に関する研究 その17 差鳴居接合部を有する構面の面内せん断実験
	経営企画部 企画課	伊藤嘉則	速度スペクトル平均強度を用いた中低層RC造建築物の簡易な応答変位予測法 その2 速度スペクトル平均強度と応答変位の関係
9月3日	中央試験所 防耐火グループ	小森谷誠	CLTを用いた高耐力の耐力壁の水平せん断試験 その4 耐力壁の面内せん断試験2
	西日本試験所 試験課	森田洋介	あと施工アンカーの押抜き試験に関する実験検討 拘束ジグの拘束効果について

4. おわりに

今後も、こうした論文発表の場を通じたセンターにおける業務成果の公表と職員の知識向上により、よりよい試験・評価サービスが提供できるよう取り組んでまいります。